

令和5年12月25日

## むつ総合病院新病棟建設事業について

むつ総合病院新病棟建設事業が入札不調となった要因と今後の対応方針について御報告いたします。

まず、入札不調の要因についてであります。複数の大手建設業者にヒアリングを実施した結果、全ての建設業者から、施工体制を構築することが非常に厳しく、自社の技術職員の配置もさることながら、特に機械設備系の下請け業者の確保が極めて難しい状況にあるとお伺いしたところであり、これが最も大きな要因であったと判断いたしております。

国内では建設需要のピークを迎えており、大阪・関西万博に関連するパビリオンの建設工事に加え、大規模な半導体工場やデータセンターの建設が各地に相次いでいることが、このような事態に至ったものと認識しております。

このことを受け、組合といたしましては、次回の入札公告に向け「施工体制の確保に配慮したスキーム作り」及び「事業費の見直し」を重要課題として捉え、次のとおり対応方針を掲げ取り組むこととしております。

- 1 現在のⅠ期工事を2つに分け、新病棟建設のⅠ期工事と既存棟改修のⅡ期工事に分割することで技術者等の拘束期間を短縮する。
- 2 柔軟な工期の設定等を通じて、受注者が建設資材や建設労働者などを確保できるようにする余裕期間制度を活用する。
- 3 大手建設業者へのサウンディング調査を定期的実施し、最新の市場動向を確認する。
- 4 労働者を継続的に確保するため、宿泊等に係る経費を支援する。
- 5 物価変動に対応し、実勢に即した事業費を算出するために単価入れ替え業務を実施する、としております。

次に、今後のスケジュールについてであります。この対応方針を令和6年6月頃を目途に具体化させ、再積算後の事業費を加味した補正予算の承認を経たうえで、令和6年8月頃の再公告を目指すこととしております。

なお、新たなスキーム作りにつきましては、国土交通省入札制度企画指導室からの御指導を仰ぎながら進めておりますことを申し添えます。

結びに、現段階におきましては、具体的な工事スケジュールや事業費をお示しすることはできかねますが、今後の事務進捗に合わせて詳細御報告いたしますので御理解を賜りたいと存じます。